

● 國學院大学 文学研究科史学専攻**「高度博物館学教育プログラム」の事例 <人社系>****具体的に何を実施したのか**

プログラムに採択された分野に関する大学教育に携わることのできる研究教育者、ならびに当該分野に関連する高度専門職業人の養成を目的に、「研究・特殊研究」科目を中核に、技能向上に係る「専門・特殊実習」、その他に専門講義8科目を開講し、体系的な課程を整えた。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

大学院文学研究科内の取組実施担当者会議、また研究開発推進機構内に教育研究情報センターを設置した。また担当専任教員を増員するとともに、RA・TAを導入することにより、各講義担当教員と大学院文学研究科内の意思疎通の緊密化と事業遂行の体系的円滑化について万全な体制を構築した。さらに国内外第一線の研究者を招へいして特別講義・フォーラム等を開催し、また国外を含む学内外の博物館・博物館関連企業と合意覚書を取り交わしてインターンシップ制度を設けて、受講学生が学内の講義のみでなく多角的に学ぶ体系を整備した。また、こうした活動状況を逐一ホームページ・ニュースレター等で外部広報を行った。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

上記のような学内体制の整備と学外との各種連携に基づく教育研究活動の充実化、さらに広報活動の強化により、大学院文学研究科において当該分野を専攻する志望者がプログラム開始以前に比べて大幅に増加した。また、体系的な学習教育効果により、大学での当該分野担当教員、専門職、関連企業等への就職者を数多く輩出することができ、本プログラムの所期の目標を達成することができた。

●**國學院大学 文学研究科史学専攻**

「高度博物館学教育プログラム」の事例 <人社系>

具体的に何を実施したのか

国外を含む学内外の機関および関連企業等と大学院生のインターンシップ受け入れを主とする教育研究活動の共同事業実施に関する合意覚書を取り交わし、大学院生の実際の業務体験機会を数多く提供した。また、大学院生各自の研究遂行能力向上を目的に、国内外の機関における調査実施に係る旅費の補助を実施した。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

大学院生のインターンシップ実施にあたっては、その教育効果を確実にするため、従事期間中の業務内容や反省点などを記録する日誌の記載を義務付け、受入れ側担当職員と担当教員がその内容を確認し、具体的な指導に活用した。また、選定にあたっては、提出された応募者の研究計画書をプログラムの取組実施担当者会議において厳正に審査して公正に決定した。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

国内外におけるインターンシップおよび大学院生の研究遂行能力向上を目的とする研究費補助により、それらの参加大学院生の研究成果発信意欲を大いに高めることができ、実際にインターンシップ参加者・研究費補助受給者の多くは、それらの成果を学会発表や論文執筆につなげることができた。また、関連業種への就職に際しても有効に作用した。